

社会福祉法人富山県聴覚障害者協会 平成25年度の主な事業報告

本部事業

(1) 総括報告

①手話言語法制定意見書採択100%達成しました。

手話言語法の制定を求める意見書の取り組みは、平成26年9月議会で県議会と15市町村議会の全てで採択して頂き100%達成しました。平成26年12月に東京で開催された手話言語制定運動成果報告会とアピールウォークに参加しました。

②富山県における障害者差別禁止の条例が制定されました。

富山障害フォーラムが平成21年から取り組んでいた障害者差別禁止条例づくりが、平成26年12月12日、県議会最終日に、議員立法として「障害のある人の人権を尊重し、県民皆が共に輝く富山県づくり条例」が採択・成立しました。国の障害者差別解消法成立の後にできた条例としては初めてです。基本理念の一つに、障害者基本法と同じ文章で手話が言語であること、意思表示の手段の選択機会の確保等、また知事が特に配慮すべき事項を定めることとする分野に「情報提供、意思表示の受領」が入りました。

③富山型デイサービス「大きな手小さな手」が開所され支援していきます。

特定非営利活動法人大きな手小さな手が平成24年に設立され、富山県聴覚障害者協会も正会員として支援しています。平成26年5月20日に富山型デイサービス事業所「大きな手小さな手」を開所し、事業を開始しました。富山市内のろう高齢者の利用が少しずつ増えています。まだまだ運営は大変なので支援を呼びかけていきます。

④富山市で第25回県ろうあ者大会を開催しました。

平成26年6月1日に、第25回県ろうあ者大会が、富山市の富山県総合福祉会館（サンシップとやま）で約300名の参加のもと、盛大に開催されました。各集いの後、式典、世界ろう連盟アジア太平洋地域事務局長担われている全日本ろうあ連盟理事の宮本一郎氏の講演、手話コーラスと劇のアトラクションも楽しませてくれました。

⑤北信越ろうあ連盟高齢部研修会の開催、全国ろうあ女性集会開催準備について

平成26年11月1日～2日、北信越ろうあ連盟高齢部第23回研修会を富山市婦中町のいこの村にて主管開催しました。全体で62名の参加で和気あいあいと交流を楽しみました。

平成27年10月に開催の第45回全国ろうあ女性集会の準備を女性部の実行員会により進めました。資金造成のグッズ販売、岩手県で開催された第44回集会での視察と引継ぎ、開催アピール、会場下見と打ち合わせなど進めました。

⑥聴覚障害者災害救援富山県本部を結成しました。

平成26年8月、本会、富通研、県サ連、医療を考える会、そしてセンターも加わり富山県本部を結成しました。県の総合防災訓練の他、在宅障害者が学ぶ避難訓練にも参加、12月は中央本部からオルグ講師を招いて防災学習会を開催しました。運営委員会で災害が起こったときのマニュアル等を整備する事など協議しています。

⑦文化の集いの他、事業は予定通り実施しました。

文化の集いはサンシップに約300名集まり、愛知県からろう者の映像作家、今村彩子さんを迎え、模擬店、展示、バザーなどで楽しくにぎやかな一日となりました。

その他のイベント、フォーラム、講座開催はおおむね計画通りに実施しました。第9回全国手話検定試験では139名の受験申込みがありました。スポーツでは卓球部が北信越ろうあ者体育大会で男子・女子団体とダブルス優勝など、全国ろうあ者体育大会では女子が団体準優勝と好成績をあげました。

⑧富山県聴覚障害者センターの運営、公益事業の状況

富山県聴覚障害者センターの利用状況は全体的に昨年と同様の利用を頂いています。来所者は6,946名、意思疎通支援事業の利用は全体で1,120件、部屋貸出は552件、相談対応は147件でした。高齢部の交流サロンは18回開催の支援ができました。

手話指導講師派遣は介護保険関係職員の養成に係わる手話学習が減り、全体として減ってきています。一般事業をどう確保していくかが課題です。

⑨会員の状況

正会員は262名（県外会員3名含む）です。一人ひとりの様子を確認して繰り返し納入をお願いしてきましたが、前年度より24人減りました。賛助会員は77名です。正会員と賛助会員を合計すると、会員数は339名となりました。

平成26年 事業報告 ()は全体の数

事業名	開催月日	場所	参加数
第1回評議員会・理事会	5月25日	聴覚障害者センター	31名
第25回富山県ろうあ者大会	6月1日	サンシップとやま	約300名
組織活動者研修会（中村慎作前機関紙部長）	7月20日	聴覚障害者センター	32名
第44回将棋大会	8月2日	聴覚障害者センター	13名
ブロック対抗ボウリング大会	8月3日	富山地鉄ゴールデンホール	27名
山の集い	8月17日	立山方面	20名
富聴協・富通研・県サ連三団体合同学習会	9月6～7日	滑川市	30名
第9回全国手話検定試験5・4級 78名申込	10月11日	聴覚障害者センター	受験60名
第9回全国手話検定試験3・2級 47名申込	10月12日	聴覚障害者センター	受験43名
第9回全国手話検定試験準1級・1級 14名申込	10月18日	聴覚障害者センター	受験13名
第2回理事会	10月19日	聴覚障害者センター	10名
第23回北信越ろう連高齢部研修会（主管）	11月1～2日	富山市	24名
第36回文化の集い（共同募金受配事業）	11月16日	サンシップとやま	約300名
第17回労働フォーラム	11月22日	聴覚障害者センター	18名
スポーツの集い 第17回ビーチバレー大会	11月9日	高岡聴覚総合支援学校	28名
第14回ろう教育フォーラム	11月30日	聴覚障害者センター	35名
（第15回）全国手話通訳者統一試験	12月6日	聴覚障害者センター	受験7名
第17回医療フォーラム（本会后援）	12月7日	聴覚障害者センター	29名
第27回麻雀大会	1月18日	聴覚障害者センター	10名
（第3回）全国統一要約筆記者登録試験	2月22日	聴覚障害者センター	受験9名
第27回耳の日福祉集会&センター8周年イベント	3月1日	聴覚障害者センター	75名
第2回評議員会・第3回理事会	3月22日	聴覚障害者センター	39名

(2) 会議開催

① 理事会の開催 (理事定数13名、監事2名)

5月25日(日) 第1回(通算第34回) 理事11名、監事2名出席
10月19日(日) 第2回(通算第35回) 理事12名、監事1名出席
3月22日(日) 第3回(通算第36回) 理事12名、監事2名出席

② 評議員会の開催 (評議員定数35名、監事2名)

5月25日(日) 第1回(通算第20回) 評議員25名、監事2名出席
3月22日(日) 第2回(通算第21回) 評議員28名、監事2名出席

③ 専門部会の開催 (定数20名)

4月27日(日) 午後 第1回 18名出席 県大会の準備と年間計画確認他
6月28日(土) 夜 第2回 16名出席 8月までの行事の打合わせ他
8月23日(土) 夜 第3回 16名出席 県への要望事項、12月までの行事打合わせ他
9月27日(土) 夜 第4回 16名出席 文化の集い、12月までの行事の打合わせ他
12月13日(土) 夜 第5回 12名出席 全日ろう連、北ろう連への要望他
1月11日(土) 夜 第6回 15名出席 3月までの行事打合せ他
2月22日(日) 全日 第7回 20名出席 年間のまとめ、来年度計画他

④ 運営委員会の開催 7回開催。委員は理事6名、監事1名。

(3) 富山ろう友編集、発行

A4版24ページ 毎月570～590部印刷 会員(正会員、賛助会員)は会費に購読料を含む。一般購読者は年1,500円。

(4) 共同募金配分金助成事業の実施

① 聴覚障害者文化活動促進事業(第36回文化の集い)

平成26年11月16日(日)、富山県総合福祉会館にて開催、参加者は約300人。ステージ発表コンクール、活動紹介展・作品展、模擬店他を行いました。

② 手話奉仕員養成担当講師の研修会

平成26年12月21日～平成27年3月8日、全4日9講座、富山県聴覚障害者センターにて開催。受講者40名、全日程受講者21名、のべ参加者135名。

(5) 手話言語法制定の取り組み

全日本ろうあ連盟手話言語法制定推進運動本部が全国の議会で採択の運動を進めている「手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書」の県議会及び15市町村議会での請願に組み、平成25年12月議会で県議会と3市、3月議会で2市、平成26年度6月議会で1市、9月議会で9市町村の採択により、私たちの運動としては史上初めて100%達成しました。

(6) 聴覚障害者制度改革推進富山県本部の取り組み

「ウイ・ラブ・コミュニケーション」パンフレットの販売普及の継続の他、平成26年12月に行われた衆議院議員総選挙に対し、中央本部の取り組みに連携し、立候補予定者全員に公開質問状を出し、回答を協会ホームページに掲載するとともにセンターに掲示し、情報・コミュニケーションや手話言語に関する法整備などの必要性を訴えました

(7) 聴覚障害者災害救援富山県本部の取り組み

全日本ろうあ連盟が設けている聴覚障害者災害救援中央本部の呼びかけに

応じて、平成26年8月7日に聴覚障害者災害救援富山県本部を発足しました。

県の総合防災訓練と在宅障害者が学ぶ避難訓練モデル事業に参加、中央本部主催の第2回全国防災会議（福島県郡山市）に派遣、防災学習会を開催しました。

(8) NPO法人大きな手小さな手デイサービス事業所への協力

NPO法人大きな手小さな手の正会員となり、高齢聴覚障害者の支援の取り組みに協力しています。手話ができるスタッフがいて、ろう児・者が安心して利用できる「とやま型デイサービス」事業所を開設され、開所式には、本会と富山市聾啞福祉協会も出席しました。活動の様子は富山ろう新聞にて毎月原稿を掲載してもらっています。まだまだ資金が不足し、安定的に運営できる利用者の確保には足りないので、引き続きの支援を呼びかけていきたいと思えます。

(9) 北信越ろうあ連盟高齢部研修会の開催、全国ろうあ女性集会開催準備

北信越ろうあ連盟高齢部第23回研修会を、平成26年11月1日（土）～2日（日）、富山市婦中町のいこいの村にて本会高齢部が主管開催しました。富山県内から24人、県外から38名、全体で62名の参加があり、講演、交流会、活動報告、レクリエーションの内容で和気あいあいと交流を楽しみました。

平成27年10月23日（金）～25日（日）に開催の第45回全国ろうあ女性集会の準備が女性部の実行員会を中心に専門部会役員も協力して進められました。資金造成のためのグッズ販売、岩手県花巻市で開催された第44回集会での視察と引継ぎ、メイン会場となる富山国際会議場の下見と打ち合わせ、メインテーマ・社会見学、特別企画などの企画づくりなどを進めました。

(10) 社会福祉法人全国手話研修センター主催 第9回全国手話検定試験富山会場の実施

富山県試験会場の受験申込者数139名（昨年102名）、受験者数116名（昨年91名）、合格者数は102名（昨年89名）となりました。手話講習会の受講者、手話サークル会員、手話の授業がある専門学校等の学生などが受講されました。

(11) 富山県障害者施策推進フォーラム協議会

富山県障害者差別禁止条例「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」の制定に取り組みました。

(12) 要望取り組み

- ①富山労働局との懇談 4月16日（木）8名出席、労働局から2名
- ②県障害福祉課要望懇談 11月29日（水）14名出席、障害福祉課から3名

(13) 体育各部の活躍

- ①第63回北信越ろうあ者体育大会 平成26年6月21日～22日 福井市
女子卓球 団体・個人戦・ダブルス全てにおいて優勝
男子卓球 団体・個人準優勝、ダブルス優勝
ボウリング 団体戦3位
- ②第48回全国ろうあ体育大会 平成26年9月25日～28日 沖縄県
女子卓球 団体準優勝、個人戦は男子選手がベスト8

(14) その他

- ①事務局実務打ち合わせ会 月1回、午後6時40分～8時頃
- ②平成26年6月1日の第25回富山県ろうあ者大会・富山市（富山市聾啞福祉協会主管）の開催支援をしました。
- ③第26回富山県ろうあ者大会・高岡市（高岡ろう友会）の開催準備を行いました。

- ④各専門部、特別委員会の活動
- ⑤各支部協会との連絡・連携
- ⑥県、富山と高岡聴覚総合支援学校、県社会福祉協議会、県身体障害者団体協議会他との連絡、会議
- ⑦県障害者福祉普及啓発キャンペーン
 - ・普及啓発イベント とやま共生フォーラム 平成27年2月7日（土）国際会議場
- ⑧北信越ろうあ連盟、一般財団法人全日本ろうあ連盟、NPO法人ろう教育を考える全国協議会、社会福祉法人全国手話研修センター（後援会）との連携
- ⑨関係団体との連携
- ⑩監査対応
 - ・富山市指導監査（2年に1回）平成27年2月10日（火）9:30～12:00
文書による改善指摘はありませんでした。口頭でいくつかの指摘があり、定款変更を予定しています。
 - ・富山労働基準監督署監査 1月15日（木）10:00～11:30
残業の代休運用方法について改善の指摘があり、代休運用を廃止し就業規則の改定を行いました。
- ⑪職員の退職と採用
再雇用常勤嘱託で勤務の職員と、定年を迎えた職員が退職の申出があり、職員2名の募集を行いました。
- ⑫協会紹介パンフレットを印刷しました。

センター運営事業

平成26年度の富山県聴覚障害者センター来所者は約6,946名（前年度7,283名）。生活訓練講座、手話通訳者養成等の講座、関係団体の部屋利用等、たくさんの方々に利用していただきました。平成27年3月には8周年イベントを耳の日福祉集会と合併し、「じんじん」字幕付き上映会等を開催しました。

- ①手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の派遣を行う。
- ②手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員の養成、研修の充実に努める。
- ③手話講習会の充実、指導者の派遣、テキストや参考図書の販売等、手話の普及に努める。
- ④字幕・手話付きビデオライブラリーの貸し出しを充実するため、リストの整備・発行、貸出業務の迅速化に努めるとともに、自主番組を制作する。
- ⑤聴覚障害児・者に関わる相談支援に努める。
- ⑥IT等による聴覚障害者への情報提供に努める。
- ⑦視聴覚情報機器の貸し出しを行う。
- ⑧大研修室と、研修室等の貸し出しを行う。
- ⑨聴覚障害者を対象にした各種講座開催、文化・スポーツ等のイベント支援に努める。
- ⑩広報誌発行やイベント等による啓発活動に努める。

1. 手話通訳者・要約筆記者・盲ろう者向け通訳・介助員の派遣 () は平成25年度

	手話通訳者派遣		要約筆記者派遣		盲ろう者向け通訳・介助員派遣		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
14市町村から受託のコミュニケーション支援等事業	474 (415)	534 (459)	3 (9)	10 (28)			477 (424)	544 (487)
富山県障害者社会参加総合推進事業・手話通訳設置事業	173 (198)	173 (198)					173 (198)	173 (198)
富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業					132 (114)	211 (185)	132 (114)	211 (185)
富山県コミュニケーション支援事業	25 (28)	33 (43)	5 (5)	13 (9)			30 (33)	46 (52)
富山県障害者社会参加総合推進事業・生活訓練講座等における手話通訳派遣	54 (31)	83 (64)	1	3			55 (31)	86 (64)
一般派遣	213 (185)	423 (344)	40 (14)	96 (45)			253 (199)	519 (389)
合計	939	1,246	49	122	132	211	1,120	1,579
平成25年度の合計	857	1,108	28	82	114	185	999	1,375

2. 手話通訳者・要約筆記者の養成・研修

富山県障害者社会参加総合推進事業の手話通訳者養成・研修、要約筆記者養成・研修、盲ろう者向け通訳・介助員養成事業を開催しました。

3. 聴覚障害者向けの手話・字幕番組の自主制作

富山県ろうあ者大会、文化の集い、組織活動者研修会や講座等の収録と編集を行いました。

4. 聴覚障害児・者に関わる相談支援を147件行いました。

5. IT等による聴覚障害者への情報提供

インターネットホームページ(ブログ)での情報発信、サロンのパソコン利用、CS障害者放送統一機構の「目で聴くテレビ」の視聴、映画館で上映される日本映画の字幕版上映日時のご案内等を行いました。

6. プロジェクター、小型LED文字表示器等、視聴覚情報機器の貸出を17件行いました。

7. 大研修室、研修室等の貸し出しは全体で552件行いました。

8. 手話講習会の講師派遣、テキストや参考図書の販売等、手話の普及

21機関・学校・団体からの手話講習会、福祉体験講座等の依頼に対応し講師を派遣しました。また、サロンのテキスト、参考図書コーナーを利用してもらいました。

社会福祉法人全国手話研修センター主催の第9回全国手話検定試験5級から準1級までの試験会場をセンターで開催し、手話学習者、手話ボランティアなどへ、手話学習の目標の一つとして総計139名から受験申込み頂き、当日は116名の方が受験されました。

9. 聴覚障害者を対象にした講座・イベント・デイサービス活動等の支援

①高齢部交流サロンは全部で18回の内、16回をセンターで開催し、協力しました。また

難聴者のサロンは4回開催されました。

②平成27年3月1日（日）センター開所8周年イベントを2015耳の日福祉集会と合併して開催しました。

③平成26年5月31日（日）富山市で開催の第25回富山県ろうあ者大会の他、第36回文化の集い、第44回将棋大会、第27回マージャン大会等の行事開催を支援しました。

④富山県障害者社会参加総合推進事業の聴覚障害者生活訓練事業の講座開催を支援。
平成26年4月6日～平成27年3月21日 全46回 参加数のべ1,330名。

この内、富山県聴覚障害者センターで開催したものは13講座、参加者のべ287名

10. 広報誌発行やイベント等による啓発活動。

①協会機関紙「富山ろう友」の発行支援と「センターだより」掲載

②手話通訳・要約筆記派遣、字幕付きビデオ貸し出し、センター利用の手引き配布

③センターパンフレットを改訂印刷しました。

11. その他

①センター来所者は、聴覚障害者2,893名、健聴者4,053名、合計6,946名。センター見学が、団体、個人合計70人ほどありました。

②福祉サービス苦情解決については、文書提出の苦情はありませんでした。

③防火管理については、9月に警報・消火器の点検と消防計画担当を確認しました。

④NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会の2014年度総会・大会、全国聴覚障害者情報提供施設協議会コミュニケーション支援事業担当者研修会に職員を派遣して研修の他、職員の健診を行いました。

公益事業

公益事業は、富山県から委託の「富山県障害者社会参加総合推進事業」「富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業」、「富山県コミュニケーション支援事業」及び、朝日町、入善町、黒部市、魚津市、滑川市、上市町、立山町、舟橋村、射水市、高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市の14市町村から障害者自立支援法の地域生活支援事業におけるコミュニケーション支援事業を受託して実施しました。

この他、公益事業における一般派遣として、手話通訳者・要約筆記者・手話講習会講師派遣の事業を実施しました。

1. 富山県障害者社会参加総合推進事業

(1) 平成25年度手話通訳者養成・研修事業

①手話通訳者養成講習会・手話通訳者現任研修会

・手話通訳 I 平成26年6月8日～平成27年2月15日 全16回32講座 受講者12人、修了者12人

・応用課程 平成26年4月26日～平成27年2月7日 全20回 受講者15人、修了者13人

・実践課程 平成26年5月11日～12月4日 全13回 受講者5人、修了者5人

・手話通訳者現任研修 平成26年8月24日～平成27年3月29日 全8回のべ270人受講

②手話通訳者登録試験

社会福祉法人全国手話研修センターの手話通訳者全国統一試験に準拠し、平成25年12月7日（土）に実施、7人が受験されましたが合格者ありませんでした。

③講師養成講習会派遣

社会福祉法人全国手話研修センターの「手話奉仕員養成及び手話通訳者養成担当講師リーダー養成研修会北信越ブロック会場に5名、手話通訳者担当講師の連続講座金沢会場に2名、手話奉仕員養成担当講師の養成の講義編京都会場に1名派遣しました。

④盲ろう者向け通訳・介助者養成

平成26年8月24日～11月30日 全8回22講座 受講者8名、修了者6名

(2) 平成26年度要約筆記奉仕員養成・研修事業

①要約筆記者養成講習会 平成26年6月7日～平成27年2月7日 全22回

手書きコース 受講者6人、修了者5人

パソコンコース 受講者1人、修了者1人

②全国統一要約筆記者登録試験を平成27年2月23日（日）に行いました。8人が受験されましたが合格者はありませんでした。

③登録要約筆記奉仕員対象の要約筆記者移行研修を行いました。

平成26年6月7日～平成27年2月7日 13回 受講者5名、修了者5名

(3) 平成26年度手話通訳者設置事業

①173件の手話通訳・相談活動等の他、登録手話通訳者派遣のコーディネート業務を行いました。

②登録手話通訳者等の頸肩腕障害予防の特殊検診を平成26年11月30日（日）に行い、18人が受診されました。

(4) 平成26年度字幕入りビデオカセットライブラリー事業

個人235名、7団体を登録し、延べ利用者35人、のべ本数92本の貸し出しを行いました。全タイトル一覧を掲載したPRパンフレットを作成、配布し、貸し出しの促進に努めました。

(5) 平成26年度聴覚障害者生活訓練事業

平成26年4月6日～平成27年3月21日 全46回、のべ1,330名の参加がありました。

①コミュニケーション・情報研修事業 11回

②文化・情報研修事業 6回

③社会・家庭生活研修事業 27回

④レクリエーション事業 2回

2. 富山県盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業 正味派遣数132件、派遣者のべ211人

3. 富山県コミュニケーション支援事業 正味派遣数30件、派遣者のべ46人

4. 各市町村受託事業

14市町村から受託の意思疎通（コミュニケーション）支援事業については、手話通訳者派遣依頼正味件数474件（派遣のべ534人）、要約筆記者派遣依頼正味件数3件（派遣のべ10人）、合計派遣依頼正味件数477件（派遣のべ人数544人）となりました。

5. 手話通訳者・要約筆記者派遣

主催者から派遣費用が支払われる県全域を対象にした大会、集会、研修会、

講座、会議等、その他県外からの依頼等については公益事業の一般事業で対応しました。

6. 手話講習会等講師派遣

21機関・学校・団体からの手話講習会、福祉体験講座等の依頼に対応し講師を派遣しました。

収益事業

書籍は940冊、ビデオ・DVDは9本、季刊みみは136冊、合計して1,085点の販売となり、収益は公益事業に繰り入れました。

会計決算

一般会計（本部経理、センター経理）、特別会計（公益会計、収益会計）全体を合計して下記のようにになりました。

当期末支払い資金残高は、合計50,756,307円となりました。

経常活動収入	合計58,259,710円
経常活動支出	合計54,774,652円
経常活動資金収支差額	合計 3,485,058円
当期資金収支差額	合計 3,485,058円
当期末支払い資金残高	合計50,756,307円

5月1日に顧問税理士のチェックを受け、5月9日に本会幹事による監査を行い、すべての会計において健全かつ正確に会計処理がされていると確認して頂きました。